

ヒト由来アルドラーゼ▲、組換え

Cat. No. NATE-1663

Lot. No. (See product label)

はじめに

フルクトースビスリン酸アルドラーゼA(Aldolase Aとも呼ばれる)は、フルクトース-1,6-

ビスリン酸をグリセアルデヒド3-リン酸とジヒドロキシアセトンリン酸に可逆的に□換する解糖系酵素です。これは発生中の胚に存在し、成人の筋肉ではさらに多く生成されます。アルドラーゼAの発現は成人の肝臓、腎臓、腸で抑制され、脳や他の神□組織ではアルドラーゼCのレベルに類似しています。欠乏は筋肉障害や溶血性貧血と関連しています。N末端にHisタグを融合させた組換えヒトアルドラーゼAは、E.coliで発現され、従来のクロマトグラフィー技術

を用いて精製されました。

別名 フルクトースビスリン酸アルドラーゼA; ALDOA; ALDA; GSD12

製品情報

種 人間

由来 E. coli

形態 液体

EC番号 EC 4.1.2.13

分子量 41.5 kDa (384 aa, 1-364 aa + ヒスチジンタグ)、MALDI-TOFによって確認されました。

純度 > SDS-PAGEによる95%

活性 > 1.5 ユニット/ mg

単位定義 1ユニットは、pH 7.5、25°Cで、1.0 μ moleのフルクトース1,6-ビスリン酸をジヒドロキシ

アセトンリン酸とグリセルアルデヒド3-リン酸に∏換します。

保管・発送情報

保存方法 4° Cで短期間(1[]2週間)保存できます。長期保存の場合は、アリコートして- 20° Cまたは-

70°Cで保存してください。繰り返しの凍結と解凍のサイクルは避けてください。